



退職者を囲む会
記事2面

女性部総会

●6月23日(土) 午後1時
●アネックスパル法円坂
森ノ宮・谷町4丁目 ※保育あります

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪府中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



大阪市をなくしたらアカン 5・17 集い 560人 「都」構想は住民投票で決着済 断念を



法定協廃止動議 維公反対で否決

「大阪市を廃止して特別区に分割する『大阪都構想』の具体案を検討する大阪府と大阪市の法定協議会が1日に開かれ、都構想に反対する自民党が提出していた『協議会の廃止』の動議が、大阪維新の会と公明党の反対で否決された。一方、都構想の住民投票について、維新は5月31日、今秋の実施を断念する方針を確認した(朝日6月1日夕刊)。

また、5月22日開かれた大阪府会財政総務委員会、前回の住民投票で、大阪府が存続したまま特別区が設置されるという印象を与えた投票用紙について、「大阪府が廃止される事実を投票用紙に記載してください」との陳情が、維新の反対、自民、公明、共産などの賛成多数で採択されました。「都構想」反対の市民の共同、「大阪府をなくしたらアカン」の市民世論の高まりに維新が追い込まれています。

住民投票3周年

「都構想」が否決された住民投票から3年目の5月17日、府市民560人が集いました。中條良一堺市副市長(写真)、平松邦夫元市長、中野雅司市民の会代表、浅野秀弥民意の会共同代表、中野冬美アピかんカジノ女性アピール呼びかけ人がゲスト参加しました。

記念講演で中山徹奈良女子大教授は、「いわゆる『大阪都』構想は、大阪市の財源と権限を大阪府に集中させ、カジノと巨大開発を一体でおしすすめるもの。維新は今後、万博・カジノ・都構想の3点セットで再び住民投票を持ち込もうとしている。今こそカジノではなく、大阪の企業の発展とともに、個人消費を高める経済対策、福祉や教育の充実で安定した雇用の創出など、維新



上、市役所包囲
右、淀屋橋宣伝



生野区の教育・まちづくりの集い

生野区の教育・まちづくり 学校統廃合考えるほどいい

「みんなで考えよう生野区の教育・まちづくり」の集いが5月26日生野区民センターで開かれ200名近い地域住民が参加しました。

ある生野区のまちづくりを考えよう(CityLink)。

生野区の学校統廃合を考える会は、「地域の合意抜きで学校再編の実施計画予算は凍結し、『生野区西部地域学校再編整備計画(案)』は元に戻すことを求める陳情書」を5月市会に5412人分提出(現在集約7千筆)し、継続して審査の扱いとなっています。

集いでは連合振興町会会長3人、田島診療所理事、日本共産党井上市議、OSAKA AKAの武市議が報告しました(参加予定の自民党黒田市議は議員団総会延長のため欠席)。

参加した保護者から、生野区に家を買ったのに不安、小学校が遠くなり1年生から通学で学校に行きにくくなったら子ども的人生がかかっていかなど発言がありました。

を」を掲げ淀屋橋宣伝、市役所包囲デモを行い70人が参加しました。大阪府教は貧困の問題が深刻化している下で、中学校給食の就学援助を全額にすること、生野区西部地域など学校統廃合をやめること、公設民営による全国初の中高一貫教育校、水都国際中学校・高等学校の19年度開校など教育の民営化をやめることを訴えました。

や避難所としての小学校の役割は大きい、小学校区ごとの合意なく中学校区ごとの「学校設置協議会準備会」のスケジュールを強行しているのは民主主義に反する、統廃合ありきの行政主導ではなく住民自治が重要、BRT(バス高速輸送システム)が来年「社会実験」、人口増のまちづくりを考えよう。

大阪母親大会

6月24日(日) 9:30~
府教育会館・クレオ中央
記念講演 石川康宏

2016年度 評価・育成システム

SS	S	A	B	C
0.5%	31.9%	65.6%	1.9%	0.1%

新人事評価制度

第1区分	第2区分	第3区分以下
5%	20%	75%

新人事評価制度(教育職員)の年間目標設定のための目標管理シート(提出、期初面談の期限が7月末であるにも関わらず、説明も不十分のまま、早期の目標管理シート提出を求める学校園がありま

す。しかも、「特別支援学級の学習指導に対する指標は難しい」としながら、あくまでも数値目標記入を求めています。新自由主義的教育支配の仕組み—P D C Aと目標管理システムは、数値目標を押しつけます。教育の仕事の中で数値化可能なものはごく一部であるにもかかわらず、数値化される評価の指標とされる部分へ、教育の仕事が一挙に一面化されます(学力テストの点数など)。そして、数値目標が達成できなければ、貧困など社会の問題、教育政策の責任は隠され、全責任が教職員に押し付けられます。その結果、教師の専門性に依拠した教育的価値の探求、子どもの内面世界の豊かな発達は切り捨てられていきます。数値化できないものは数値化してはなりません。数値化に従えば、評価育成システムでSが第三区分へ、Aが第四区分に下げられることが予想されます(表参照)。目の前の子どもたちの成長・発達こそ大切に、新自由主義に抗し、子ども、教職員の人間としての尊厳を取り戻す取り組みを大阪府教は強化します。

目標管理シート 教育ゆがめ管理強化 新人事評価撤回!

仲間が増えた!
好評の教採突破講座で加入 知り合いに声かけを

6月2日開催の「教採突破講座②」。「ネットで見た」「職場でビラをもらった」など、初めての参加者が目立ちました。受付で「組合に加入を」と声をかけ仲間を迎えることができました。受講者からは「他の人の面接を見て、参考になった」「緊張感を持って練習する機会はとても貴重」「意見を言ってもらい、自分のクセなどがわかり、よかった」などの感想が寄せられました。講座では受講者を激励するとともに、組合の存在意義や加入を訴えています。若手JIMUの会でも加入がありました。受講者の多くが「次回も参加します」と意思表示しています。採用をめざす知り合いの人に、「ぜひ」と参加をすすめてください。

教え子を再び戦場に送るな!